

## TOPICS

ごあいさつ

「傾聴に携わる方のほっとスペース“komorebi”」開催

被災地支援活動参加者の声

訪問仮設住宅紹介

今後の予定

## ごあいさつ

特定非営利活動法人 埼玉カウンセリングセンター 代表理事 高倉恵子  
久しぶりのニュースレターです。相変わらずあちこち飛び回って、忙しい毎日をご過ごしております。一昨年、昨年と多くの方々に応援をいただき、いよいよ認定 NPO 法人に向けて動き出すことができました。この場を借りて、御礼申し上げます。さて、「カウンセリング」に対する関心が増えている兆しを感じ、今までとは少し違った役割があるのかもしれない、と思うこの頃です。とても実感としてあるのは、人脈の広がりで。一人のカウンセラーが持っているパワーは限られていますが、パワーを持った人々との出会いによって、『ピンチはチャンス』と思う気持ちが湧いてきました。感謝です。

## 「傾聴に携わる方のほっとスペース“komorebi”」開催

2013年9月25日(水)に、さいたま市生涯学習センター 講座室で「傾聴に携わる方のほっとスペース“komorebi”」を開催いたしました。予定したよりもはるかに上回る方々の参加をいただきました。大変ありがとうございます。

前半は、まず震災直後のさいたまスーパーアリーナでの活動から現在までの被災地支援活動の様子動画を視聴していただき、その後実際に石巻で支援活動を経験された大塚さんと松本さんに体験談を話していただきました。

休憩中は、展示した写真や書籍、仮設住宅の住民の方々が

作った小物をご覧になったり、久しぶりに再会された方との会話を楽しんでおられました。

後半は円になって、簡単な自己紹介と、現在の活動状況やご苦労されていること、質問事項や情報交換など、自由にお話していただきました。



体験談をお話する大塚さん

お話は尽きることなく、時間いっぱいまで続けました。大変有意義な時間となりました。

最後をお願いして集合写真を撮らせていただきました。みなさま、ご協力ありがとうございました。



## 被災地支援活動参加者の声

### 私のボランティア

ふじみ野市お話し相手ボランティア「えがお」会員

松本 信行

私は還暦を迎えたら本格的にボランティアを行いたいと考えていました。そんな時、ふじみ野市の社協だよりで「お話し相手ボランティア」の養成講座があるのを知り、お話し相手ならお茶を飲みながらでも簡単にできそうな気がして応募してみました。仕事で営業もしておりますので、少しは自信があったのですが、実際はとんでもない勘違いでした。

養成講座でお話し相手ボランティアというのは「相手が話してくれる話しに両耳を傾けて一所懸命聴く」こと、私が勝手に話しをするのではないという事を学び、そしてそのことを実感できたのは2年位たってからです。

そんな2年の間には、気が向かない時もあり約束の日に出掛けるのがおっくうだと思つて何回もありました。しかしそ

んな日でも傾聴をし終わったあとは利用者さんの笑顔にあえたりして何か達成感があり、お話し相手ボランティアを続けられたのだと思います。

そんな活動の中、現在行っている石巻市の仮設住宅での足湯活動参加のきっかけは、東日本大震災前に行われた社協主催の災害時ボランティア養成講座の講師をしていただいた高倉恵子さんとの出会いです。この講座は、関東地区大震災を想定した講座でした。

東日本大震災被災者に対する足湯のボランティアがスーパーアリーナで行われた時、私はメンタルサポーターとして参加しました。その後、高倉さんから石巻での足湯活動を誘われ、参加することになりました。石巻市の仮設住宅での足湯活動は2泊3日、スタッフ4～5名で4つの仮設住宅を廻り利用者さんに1回20分位でお湯に両足をつけてもらい、手のマッサージをしながらお話しを伺うという活動です。

大震災時の津波の状況等大災害にあった方々のつらい出

来事の生の声を聞いた時、時には一緒に涙を流し、時には返事の言葉も出ないほどの体験をさせてもらいました。

このような被災された方々から、どんな時でも「前を向いて生きていく」というメッセージをもらったような気がしています。

この様にボランティアとして活動していくことは、私自身にも何か多くの得ものがあり、私自身の何かしらの力になっているような気がします。

今後の予定としては、石巻市の足湯は仮設住宅の被災者の皆さんが復興住宅に入るまで活動して行くこと、ふじみ野市のお話し相手ボランティアの傾聴活動では利用者さん一人ひとりと「真剣に心からお話しを聴く」ことを今以上に心がけていきたいと考えています。



特定非営利活動法人  
埼玉カウンセリングセンター

〒330-0854  
埼玉県さいたま市大宮区桜木町  
4-780-7

TEL&FAX  
048-650-6514

E-mail  
mail@npo-scc.jp  
URL  
http://npo-scc.jp

## 訪問仮設住宅紹介 第3回 仮設大森第3団地



高台の五十鈴神社から撮影した仮設大森団地

第3回でご紹介するのは、仮設大森第3団地です。

仮設大森団地は第1から第4まであり、全部で392世帯という大規模な団地です。その中でも第3団地は191世帯で大森団地の中で一番大規模です。

今までご紹介した仮設住宅は、ほぼ同じ地域の方が入居されていたのですが、この大森団地は大規模な上に、さまざまな地域の方が入居されており、はじめは自治会長がなかなか決められないほど、地区としてまとまるのに難儀されているようでした。

た。しかし、初代の自治会長さんが現在も継続して務められており、住民の方々がまとまるように尽力されていらっしゃいます。

住民の方々の中には、デコパージュづくりを行い、それを販売するなど生活のはりあいになること、今自分達ができることを探そうとする姿が見られるようになりました。

また、足湯の拠点第3団地の「大森ささえあい拠点センター」であるが故に、はじめは第1、2、4団地の方々の参加が観られませんでした。最近では第3団地

まで足を運んでくださるようになりました。



(案内図。規模の大きさがわかります。)



2014年2月  
With you さいたま  
フェスティバルにて

特定非営利活動法人"  
埼玉カウンセリングセンター

〒330-0854  
埼玉県さいたま市大宮区桜木町  
4-780-7

TEL&FAX  
048-650-6514

E-mail  
mail@npo-scc.jp  
URL  
http://npo-scc.jp

## 今後の予定(2014年6月～)

【相談活動】  
「なんでも！こども電話相談」  
9月8日～13日  
13:00～21:00

【研修・研究活動】  
傾聴ボランティア講座  
6月21日、28日、7月5日  
13:30～16:00

カウンセリング入門講座  
9月20日、27日、10月4日  
13:30～16:00

【石巻支援活動】  
7月10～12日  
仮設住宅集会所での足湯  
カフェ  
8月8～10  
被災地支援体験と現地視察  
ツアー

【お知らせ】  
心のほっと・スペース ティールーム“komorebi”再会予定！  
さまざまなイベントも企画中です。  
決定次第、HPおよびスマホサイトにアップいたします。

スマホサイトURL  
sp.raqmo.com/npo-scc/

スマホサイトQRコード



### ♪高倉先生のせなか♪

唐突ですが、先日編集人が **Youtube** を検索していると「小梅太夫」というお笑い芸人（ご存じでしょうか？）の動画がヒットしました。懐かしいなあと思って視聴してみたら、相変わらず「チッキショー！」と叫んでおりました。

みなさまもそうではないかと思いますが、日々生活していると、理不尽だと思うことや悔しいと思う出来事に出会うと思います。そんなときでも、高倉先生は「チッキショー！」とはならないのです。一体どのようにして収めているのでしょうか…そんな先生の背中をみながら、編集人が代わりに「チッキショー！」と叫んでいる、初夏のある日でした。（Y. O）